〔９番　平山晶邦議員　登壇〕

○９番（平山晶邦議員）　平山晶邦です。通告に従い，一般質問を行います。

平成の市町村合併で新生常陸太田市になって，来年で２０年を迎えます。市も，来年度には様々な２０年記念行事を計画するようです。私は，２０年の節目を迎えるに当たり，未来に向かっての記念行事になることを望みます。２０年という時の流れの中で，大きく社会環境が変わってきました。気候も，人の暮らしも，ＩＴ環境も，子どもたちの教育環境も，そして世界状況も，多くのことが２０年前とは違ってきています。そして，私たちを取り囲む社会環境の変化は，年々そのスピードを増しているように感じます。

私の好きな言葉に，脱皮できない蛇は死ぬという言葉があります。その言葉のように，私自身は常に自分を変える努力をしようと思っていますが，現実的には難しく，困難を伴っています。しかし，社会の中で生きている，生活している私たちは，変わりゆく社会状況を捉えて，その社会環境に合わせていくことが求められるのではないでしょうか。２０年前とは社会状況と環境が大きく変わっている中で，常陸太田市の事業環境はどれほどの変化を遂げているのでしょうか。

行政の事業は，変えれば全てよいとは限りません。そして，変化するには市民の理解が必要になります。事業を変える，仕組みを変えるには，市民に対しての行政の透明性と情報の共有化と市民をリードする行政からの提案であります。

私は，６月議会でも申し上げましたが，東部土地区画整理事業が進むにつれ，常陸太田市が新たなステージに入ってきたように思います。子育てのソフト事業で注目されていた常陸太田市が，ハード面の整備が進むに従い，改めて注目されるまちになってまいりました。ハウスメーカーの住宅分譲も進んでいるように感じます。人が住むまち，若者が行き交うまちにするために，市はより一層の事業の在り方，そして変化が求められてくると思います。不合理なもの，非効率的なものは変えていくという市民に対しての提案が必要になってくるのではないでしょうか。

前段に以上のことを申し上げ，私の一般質問に入ります。

第１の質問は，市が出資している第三セクター，株式会社水府振興公社，一般財団法人里美ふるさと振興公社，常陸太田産業振興株式会社の今後についてお伺いをいたします。

私は，３月定例議会の一般質問で，市が出資している第三セクターが指定管理団体として観光行政の受皿となっている、この３団体の今後の在り方について伺いました。ご答弁では，持続可能な運営が可能となる力強い組織へと変革していくことも必要ではないかと考えるというご答弁でありました。今議会に出資３団体の昨年度経営状況報告書が配られました。その内容を見ると，３団体ともその経営環境は厳しさを増しているように思います。市が出資している団体ですから，市民に対して透明性や説明責任が求められます。そこで，昨年度の経営状況報告書から見えてくる内容と，今後の組織の在り方をお伺いいたします。

１点目は，３団体の令和４年度の決算状況，３団体に対する指定管理料の過去３か年の推移，３団体に市から出向している職員数と全体の職員数，地元雇用の人数をお伺いいたします。

２点目は，市は３団体に対してどのような経営管理や指導を行い，課題，問題等の解決を行っているのかをお伺いいたします。

３点目は，３団体は現在の組織経営形態で持続可能な経営状況を維持できる体制と今後ともなり得るのか，ご所見をお伺いいたします。

第２の質問は，利用者ニーズに対応した公共施設の維持運営についてお伺いをいたします。

常陸太田市公共施設再配置計画平成３１年３月版の再配置における基本方針の中で，１，サービスを利用する人，団体の特性に合わせた再配置計画とすることや，市民ニーズ等の状況変化に対応したサービスの適正化ということをうたっています。私も前段で申し上げておりますとおり，新生常陸太田市になってから２０年の年月の中で，本市を取り巻く社会環境は大きく変化をしているということを申し上げております。同様に，市民のニーズの変化も起こっています。市内外の人々が直接利用する公共施設は，特に利用者のニーズに敏感でなければならないと思います。公共施設再配置計画を進める中で感じることは，計画の中で残していく施設に対して，利用者ニーズに対応した施設となっているのかという疑問であります。

そこで，１点目として，利用者ニーズに対応した維持管理の現在の状況についてお伺いをいたします。

２点目として，社会環境の変化に沿った施設の質向上についてお伺いをいたします。

以上で私の１回目の質問といたします。

○藤田謙二議長　答弁を求めます。総務部長。

〔岡部光洋総務部長　登壇〕

○岡部光洋総務部長　市が出資している３つの第三セクターの経営状況報告書からの内容と，今後の組織の在り方についてのご質問にお答えいたします。

１点目の３団体の令和４年度の決算状況，過去３年の指定管理料の推移，職員数についてでございますが，株式会社水府振興公社につきましては，売上げ等収入が１億５，５６６万６，０００円，売上原価並びに販売費及び一般管理費等費用が１億６，３７２万６，０００円で，差引き８０６万円の赤字になってございます。指定管理料につきましては，令和２年度が２，４２０万円，令和３年度が３，１３０万円，令和４年度が５，３３０万円となっております。なお，令和４年度に指定管理料が２，２００万円増額している点につきましては，金砂の湯の指定管理者となったことによるものでございます。職員数につきましては，市からの退職派遣が１名，正職員が７名，パート職員が３４名の計４２名で，市内在住の地元雇用が３６名でございます。

一般財団法人里美ふるさと振興公社につきましては，収入が２億２，７９６万３，０００円，費用が２億２，４５０万５，０００円で，３４５万８，０００円の黒字となってございます。指定管理料につきましては，令和２年度が６，６５０万円，令和３年度が７，９７０万円，令和４年度が７，８０２万４，０００円でございます。職員数につきましては，市からの出向者が２名，正職員が８名，パート職員が１４名の計２４名で，地元雇用が２１名でございます。

常陸太田産業振興株式会社につきましては，収入は８，２５９万７，０００円，費用が８，１００万２，０００円で，１５９万５，０００円の黒字となってございます。指定管理料につきましては，令和２年度が２１０万円，令和３年度が１，８３８万円，令和４年度が１，９９０万円でございます。令和３年度に指定管理料が１，６００万円ほど増額している点につきましては，市職員を派遣する人件費に充当するためのものでございます。職員数につきましては，市からの退職派遣が２名，正職員が１名，契約社員が１名，パート職員が２３名の計２７名で，地元雇用は１５名となってございます。

２点目の３団体についてどのように経営管理や指導を行い，課題，問題解決を行っているのかの質問でございますが，市の定める指定管理者モニタリングマニュアルに基づきまして，毎月，各施設から所管部署へ利用状況等の報告がされているほか，条例に基づき，公の施設の指定管理者選定委員会で所管部署の指導の状況等につきましてもチェック等をしているところでございます。

加えて，里美ふるさと振興公社におきましては，平成２９年に令和３年度を終期とする経営健全化計画を策定し，上期と下期の年２回，収支状況について報告を受け，経営管理等に関する指導を行ってきたほか，経営健全化計画が終了した昨年度以降におきましても，引き続きこうした措置を継続しているところでございます。

水府振興公社につきましては，自主事業実施の際には随時協議を行うなどの対応をしてまいりましたが，同公社につきましては令和４年度の決算の結果，債務超過の状態になりましたことから，副市長を委員長といたします経営健全化検討委員会を本年７月に立ち上げ，里美ふるさと振興公社と同様に経営健全化に向けて経営管理等に関する指導を行うこととしてございます。

また，常陸太田産業振興株式会社におきましては，所管課において月次の報告を受け，経営や運営について課題や疑問等が生じた場合には，その都度，協議をするなどの対応をしてきたところでございます。

このように，３団体の報告の内容や時期につきましては，それぞれの団体における事業範囲やその内容，さらには経営課題も異なることから，統一的な経営管理や経営諸表の分析ができていなかった可能性もありますことから，総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業によります第三セクター等の経営改革に関するアドバイザーを活用いたしまして，経営分析や改善策を検討していくこととしてございます。

３点目の，３団体は今後とも現在の組織経営形態で持続可能な経営状況を維持できる体制となり得るのかのご質問でございますが，令和４年度の決算を見る限りでは，光熱費等の高騰などによって温浴施設を中心に収益が著しく悪化し，水府振興公社に至っては赤字を計上し，債務超過にも至ったことを考慮いたしますと，適正な経営や健全化に向けた指導等が必要であるものと危機感を抱いております。このため，２点目の答弁で申し上げました外部の専門アドバイザーも活用しながら，現状分析や将来的な経営に関するアドバイス等もいただきつつ適切に指導等を行うとともに，現在，各管理を任せている各団体の今後の組織の在り方につきまして，持続可能な運営ができる体制づくりを早急に検討を行うべく努めてまいります。

○藤田謙二議長　企画部長。

〔柴田道彰企画部長　登壇〕

○柴田道彰企画部長　利用者ニーズに対応した公共施設の維持，運営についてのご質問にお答えをいたします。

１点目の利用者ニーズに対応した維持管理の現在の状況についてでございますが，市は現在，公共施設等再配置計画に基づき，公共施設等の将来費用に対する財源不足の解消を目指して，平成２９年度から令和３８年度までの４０年間で，将来費用不足分５００億円の縮減の数値目標を掲げ，市内全ての公共施設について，複合化，建物廃止，施設機能維持等再配置の実施方針とその対応期限を定め，関係各部課等により組織された庁内推進体制の下，毎年度，調査，検証を実施するとともに，随時，見直しも図りつつ，施設の再配置に取り組んでいるところでございます。

その中で，実施方針が複合化や施設機能維持等とされております，今後も維持，運営していく施設につきましては，再配置計画上の長期的な視点に立った計画的な保全，市民ニーズ等の状況変化に対応したサービスの適正化といった基本的な考え方の下，各個別施設の施設所管課において詳細な調査，検討を行うとともに，関係部課等が横断的に関わり，再配置に取り組むこととしております。

現在のところ，ほとんどの施設が市町村合併前に整備した施設のため，老朽化が進んでいることから，施設の保全に係る修繕や長寿命化対策等が中心となっておりますが，これまで実施した利用者ニーズへの対応としましては，ぬく森の湯のリニューアルや市役所本庁舎駐車場のレイアウト改修，歩行者用屋根の設置等がございます。また，本年度におきましては，来庁者の利便性の向上等に向けて，市役所本庁舎１階フロアの改修を行うこととしております。

今後とも利用者の視点に立ち，関係各部課等が横断的に連携しながら，利用者ニーズを踏まえた対応を進めてまいります。

次に，２点目の社会環境の変化に沿った施設の質向上についてのご質問にお答えをいたします。

現在，本市は公共施設等再配置計画に基づき，保有する公共施設とそれらの利用環境を経営戦略的視点から総合的に管理，活用するファシリティマネジメントの考え方を取り入れながら，財政状況や人口減少，少子・高齢化等による利用者ニーズの変化も踏まえ，長期的な視点に立ち，総合的かつ計画的な管理運営を行うこととしておりますので，現状維持を前提とせず，利用実態やコスト状況，今後の利用見込み等を踏まえて，社会環境の変化に沿った施設機能の見直し，公共サービスにおける質の向上を図っていくことが重要であると考えております。

また，民間活力の活用による効果が期待できる施設につきましては，指定管理等，民間のノウハウやアイデアを活用したサービスの向上や施設の有効利用，運営の効率化等の検討も必要になるものと考えております。

今後も公共施設に求められる役割や機能を十分に踏まえた上で，利用者の声や施設の特性，実情等も考慮しながら，次世代に継承できるよう，適正な施設の整備及び管理に努めてまいります。

○藤田謙二議長　平山議員。

〔９番　平山晶邦議員　質問者席へ〕

○９番（平山晶邦議員）　２回目の質問をいたします。

要望事項，そして確認，２つ申し上げたいと思います。

第１の質問であります１点目の３団体の決算状況，指定管理料の推移，職員数については，理解をいたしました。

２点目の経営管理や運営指導については，ご答弁であったように経営管理が十分できていなかったことに対しては反省をしていただき，今後は総務省の地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業で，この第三セクターの経営改革に関するアドバイザーを活用した経営分析や改善策を検討していくというご答弁，私もそのように思っておりますので，よろしくお願いをいたします。

また，総務省のこの事業は，常陸太田市も改善策などが必要であれば覚悟を持って改善策などを受け入れる必要があるのではないかと思っております。この点もよろしくお願いを申し上げます。

３点目でございますが，組織の経営形態の今後の在り方については，１点だけ確認させてください。

昨年度までの決算状況は分かりましたが，今年度の７月までの実績は，各３団体，どのような進捗状況になっているのか。確定した数字はまだ決まってないと思いますから，数字は結構でございます。簡単に，プラスなのかマイナスなのか，各団体の進捗状況についてお答えください。

○藤田謙二議長　答弁を求めます。総務部長。

○岡部光洋総務部長　ただいまのご質問にお答えいたします。

本年度７月までの３団体の経営状況についてでございますけども，里美ふるさと振興公社それ

から常陸太田産業振興株式会社につきましては黒字，水府振興公社につきましては赤字となってございます。

○藤田謙二議長　平山議員。

○９番（平山晶邦議員）　分かりました。

経営環境も厳しい，そしてまた水府振興公社におかれましてはやはり経営状況も厳しいという現状を理解いたしました。

改めて，三セクに関しては要望を申し上げます。

ぜひとも，総務省まで巻き込んで現状分析と将来的な経営についてアドバイスをいただくわけですから，問題が出てくるのであれば早急な三セクのありようの結論を出すべく努めていっていただきたいと思います。よろしくお願いをいたします。

第２の質問の施設の在り方については，ご答弁でありましたように環境が変化しているわけでございますから，特に市民，また市外から来る利用者の利便性，そしてその要望，そういうふうなものを捉えた選ばれる施設に対応する，そのような施設管理，施設運営を改めてお願いを申し上げたいと思います。

以上で私の一般質問を終わります。